

第5 計画の推進方法

- I 計画推進のための連携・協力
- II 計画の進行管理

第5 計画の推進方法

I 計画推進のための連携・協力

この計画に盛り込まれた次世代育成支援施策が総合的かつ効果的に行われるためには行政、家庭、学校、地域社会、企業、関係団体、NPOなど幅広い関係者が連携・協力しながら、それぞれの役割を果たしていくことが重要です。

計画推進のための連携・協力イメージ



II 計画の進行管理

計画の実効性を上げるためには、施策の選択・重点化を行い、住民の満足度の向上や施策の実施状況について検証・評価し、住民や関係機関の意見等による見直しを図るマネジメントサイクル（Plan-Do-Check-Action）により、運営する必要があります。

1 検証・評価

計画の実施状況について、個別事業に係る数値目標等の進捗状況や個別事業を束ねた施策・計画レベルの進捗状況について検証・評価を行います。

(1) 個別事業の検証・評価

- ① 計画に関わる庁内関係各課で構成する香川県子育て支援対策推進連絡会議（委員長：健康福祉部長）は、毎年度、個別事業の執行状況や数値目標の進捗状況を把握し、計画の進行管理等を行います。
- ② 委員長は、毎年度、計画の実施状況について香川県次世代育成支援対策推進本部（本部長：知事）に報告します。
- ③ 本部長は、計画の実施状況の報告を受け、計画の円滑な実施が図られるよう、必要に応じ関係機関等の連絡及び調整を図ります。

(2) 施策・計画レベルの検証・評価

毎年度の個別事業の検証・評価に加え、県民の視点に立った取組みの進捗状況を把握するため、計画期間中において、個別事業を束ねた施策レベル、計画全体の満足度等の検証・評価を県政世論調査等を活用して行います。

<評価指標例>

- ① 地域における子育ての支援
 - ・子育てに関して不安感や負担感を持つ保護者の割合
 - ・希望する保育サービスを利用できたと感じる割合
 - ・子育てが地域の人に支えられていると感じる割合
- ② 職業生活と家庭生活との両立の推進
 - ・仕事と生活の調和の実現が図られていると感じる割合

2 報告・公表

計画の進捗状況およびその評価については、毎年度、香川県児童福祉審議会に報告し、意見を求めるとともに、ホームページ等により公表します。

3 計画の見直し

計画期間中においても、次世代育成支援施策の動向、子育て家庭のニーズや社会経済の変化等を踏まえ、施策の選択・重点化と満足度の向上を図るため、必要に応じて計画の見直しを行います。